

- 平泉町では令和4年度より集積計画の策定を進めており、令和5年度からは集積計画に基づき、町の管理事業により間伐を開始した。
- 間伐対象地のほとんどは、作業道が未整備で搬出が困難なことから、形質不良木を中心とする切捨間伐としている。

### □ 事業内容

環境譲与税を活用し令和5年度に下記の事業を委託により実施した。

#### 1、経営管理権受託森林間伐業務

【事業費】2,970千円（うち譲与税2,970千円）

【実績】経営管理権集積計画を樹立した森林のうち6.61haにおいて間伐を実施した。

#### 2、束稲山の錯乱情景復活事業

【事業費】4,290千円（うち譲与税568千円）

【実績】西行桜の森において植樹するための地拵え業務を実施した。

### □ 取組の背景

当町では、環境譲与税の譲与額が少額であることから用途を限定して効率的に活用していく必要がある。そのため、集積計画の策定とそれに基づく間伐に集中して実施することとして業務を進めている。

令和5年度は上記事業を実施し集積計画策定と間伐を進め、森林環境の改善を図った。

### □ 工夫・留意した点

- ・町が独自に導入しているGISに各業務の進捗を入力し実行管理を行った。（意向調査結果、現地調査結果、集積計画策定状況、森林整備実施状況など）
- ・間伐は林内の環境だけでなく景観の改善も視野に入れ、世界遺産のコアゾーンとなっている毛越寺付近から順次実施した。
- ・針広混交林かつ下層植生が繁茂している状態を目標とし、間伐に際しては極力広葉樹を残しながら実施した。

### □ 取組の効果

- ・現地調査結果を踏まえ、令和5年度中に集積計画を6件94.47ha（うち人工林46.13ha）樹立した。
- ・集積計画を樹立した森林のうち6.61haにおいて間伐を実施し、森林環境が改善した。
- ・間伐を実施した森林の所有者からはポジティブな反応が多く寄せられており、間伐を機に所有者の森林に対する関心が高まったように感じる。

#### ◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：3,538千円	②私有林人工林面積（※1）：1,357ha
③林野率（※1）：48.4%	④人口（※2）：7,252人
	⑤林業就業者数（※2）：14人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より



（現地調査写真）



（間伐後現地写真）



（間伐後現地写真）